

第6回合志市人権教育研究大会

入場
無料

手話通訳
託児あり

みんなでつくろう！ 差別のない明るい合志市

趣旨 市民一人ひとりが人権問題とのかかわりをより深く認識し、人権教育の輪を広げ、差別のない明るい社会を築き、「人権と共生の世紀」の実現をめざすよう本大会を実施します。

と き／7月30日（土）

ところ／ヴィーブル

主 催／合志市人権教育推進協議会

日程／開会 午後1時～

第1部 記念講演 午後1時15分～2時35分

講 師 教育サポーター なかじま まさのり 仲島 正教 さん
演 題 『あーよかったな あなたがいて』
～「優しさ」という温かい貯金～

第2部 分科会 午後2時50分～4時30分

	分科会	場所（ヴィーブル内）	内容
1	就学前教育	福祉会館大広間	差別を見抜き、差別をしない、させない、子どもを育てる保育の実践など
2	学校教育	文化会館	全ての子どもたちの人権意識を高め、さまざまな人権問題の解決など
3	社会教育	中央公民館研修室	人権教育について、社会教育の中で果たすべき役割など
4	企業内教育	中央公民館日本間	各企業における人権意識を高め、差別のない明るい職場づくりなど
5	進路保障	中央公民館多目的研修室	子どもたちの進路を自分の意志で切り開いていく力を身につける取り組みなど

問い合わせ先 人権啓発教育課（御代志市民センター） ☎242-1190

人権よもぎま話

「思い込みの怖さ」について

夏号



人権擁護委員
中村 十九男

最近、有罪から無罪に変わる裁判の判決が見受けられます。警察の捜査の甘さや検察の対応などにも原因があるのではないのでしょうか。一体、その人の人権を何だと思っているのかと言いたくなります。

私は、大学時代に小さな工場でアルバイトをしていました。ある日、工場二階の従業員室でお金が盗まれました。警察が調べましたがわかりません。その数日後、またお金が盗まれました。今度は、刑事による捜査が行なわれましたが、結局わからず、職場は大混乱でみんな疑心暗鬼です。放つてはおけないので工場長が従業員を一人ずつ事情聴取しました。いわゆる犯人さがしです。「〇〇さんが二階にあがっていくのを見た」など

のうわさがささやかれ、「あの人はないか」との声があがりました。その人は、五十歳過ぎの女性で工場長はその人に絞って、事情聴取を続けました。その人は、自分が疑われたことで気が動転されたのか、言動がおかしくなっていました。ますます疑惑の目で見られるようになりました。

ある日、「二階に誰がいる」と従業員が叫びました。見知らぬ若い男が窓から飛び降り逃げ出しました。私は必死になって追いかけ、その男を引きずり倒し、押さえてつけました。お金を盗んだのはその男でした。女性は無実でしたが、数日後、職場を去っていきました。周りの人に信じてもらえなかった悔しさと寂しさとでいっぱいであつただろうと今でも胸が痛みます。

思い込みや、公正ではない一方的なものの方、人権を簡単に踏みにしてしまいます。私たちの周りでは日常的に起こっている事象ではないかと案じることがあります。お互い気をつけましょう。

素敵な人生 素敵なパートナー



市男女共同参画
推進懇話会委員
下條 寛二

現在日本は、東日本大震災とこれに端を発する東京電力福島第一原発による放射能災害という、近年経験したことのない大きな試練に直面している。特に原発による影響は、実質的な被害とともに、風評被害という形で日本全体に大きな経済的余震を与え続けている。

テレビの画面を通して、また現地にボランティアに行った仲間の話や写真を通して、その被害の大きさ悲しさを感じるとともに、そこに生きる人たちのたくましさや互助の魂を垣間見て、自分たちがすることは何か無いかと自問されている人たちも多いことと思う。

このような危機において、改めて感じるのは男女を問わず、老人や若者も共に協力しながら地域の未来を造るため、自分たちの明日を造るために必死に頑張っておられることだ。その姿に人間生活の原点を考えさせられた。普通の生活においては、

それぞれが育った環境や個性の発露といえるライフスタイルや主張を通すことも多いけれど、個人の生活や生存の根っ子の部分を見ていくと、自分一人では解決できないことが沢山あることが解ってくる。もちろん、個人の才能をいかに活かすかは重要であり、せっかく頂いた才能を最大限に活かすことも大事である。しかし、自分とともに相手を理解し、尊重した上で能力を出していくことが円満な家庭生活や社会生活を行なう上では不可欠なことではないかと思う。身近な存在として家族があるが、家族も夫婦や親子が協力しないと生活をしていくことはできない。また「個人の幸せ度」から見ていくと、「幸せ度」は、自分が尊重され、役割があることを感じられるとともに、相手の役割も尊重できること、相手や周囲に対して感謝できることが「心の幸せ度」を上げていくことに繋がると思う。今回、逆境にあつては、男女も老若も関係なく、自分ができることをやる、互いを支え、支えられ、協力し、共生することの大切さを学ばせていただいた。支え合いとは自分も大事に、他者も大事にすることではないかと思う。